

## 保安検査トレイ UV 殺菌装置の導入について

中部国際空港セントレアでは、コロナ禍においても、お客様に安心して空港・航空機をご利用いただけるよう、様々な感染症対策を実施し国際認証※1も取得しているところですが、この度、中部国際空港株式会社は、さらなる感染症対策として、保安検査場の手荷物検査レーンにてトレイを自動で殺菌する装置（UVライトモジュール）を新たに導入いたしました。

UVライトモジュールは、トレイの全面を紫外線（UV-C）で照射することで、トレイに付着したウイルスや細菌を最大で99.9%死滅させることができます。また、トレイを自動で入口まで返送できるスマートレーンの内部にUVライトモジュールを設置するため、トレイが返送されている間に自動的に殺菌が行われ、お客様は安心してトレイをご利用いただけます。

セントレアでは、これまで以上に安心してお客様がご利用でき、従業員が勤務できるように、今後も様々な感染症対策を取り入れながら、安全・安心な空港サービスを提供してまいります。

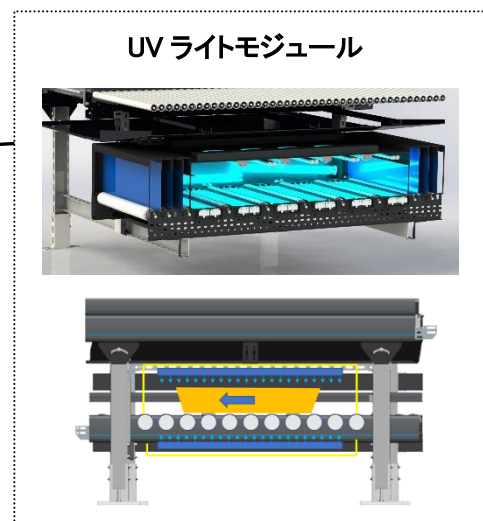
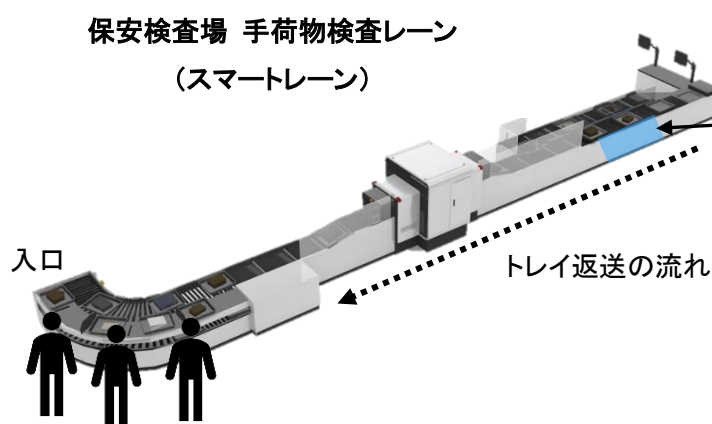
■ 導入日： 2021年11月1日（月）

■ 導入装置： Smiths Detection社製 UV light modules (UV殺菌装置)

※この自動UV殺菌装置は、イギリスやカタールの空港に導入されていますが、国内空港では中部国際空港が初めての導入となります。

■ 導入場所： 第1ターミナル国際線保安検査場および第2ターミナル国内線保安検査場に各1台

※旅客需要の回復等を踏まえ今後の拡充について検討予定



(※1) 2021年3月に、国際空港評議会 (ACI) が実施する「Airport Health Accreditation(AHA)プログラム」における評価を受け認証を取得しています。